



2026 年 10 月 27 日

各 位

会社名 株式会社オータケ
代表者 代表取締役社長 金戸 俊哉
(コード：7434、東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 企画管理本部長 横山 和仁
(TEL. 052-211-0150)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (アップデート)

当社は、本日開催の取締役会において、2024 年 7 月 12 日に公表しました「第 2 次中期経営計画」の戦略 Vision である「資本コストや株価を意識した経営の実現」に関して、現状の分析・評価や取り組み状況を踏まえた内容にアップデートしましたのでお知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

(ご参考)

2025年5月期より、連結決算へ移行しております。

項目	単位	2022年 5月期 単体	2023年 5月期 単体	2024年 5月期 単体	2025年 5月期 単体	2025年 5月期 連結	2026年 5月期 単体	2026年 5月期 連結
売上高	百万円	26,615	29,321	31,253	32,447	32,993	34,350	35,653
当期純利益	百万円	530	822	774	882	855	831	878
総資産	百万円	21,032	23,213	24,526	25,685	26,064	30,417	30,887
自己資本	百万円	12,907	13,977	14,923	15,422	15,388	17,429	17,466
1株当たり純資産	円	3,250.05	3,494.52	3,725.00	3,938.64	3,929.93	4,443.48	4,453.03
1株当たり当期純利益	円	133.63	205.86	193.53	223.30	216.41	212.25	224.16
期末株価	円	1,572	1,656	1,734	1,756	1,756	1,767	1,767
1株当たり配当額	円	27.00	33.00	35.00	37.00	37.00	40.00	40.00
ROE（自己資本利益率）	%	4.2	6.1	5.4	5.8	5.6	5.1	5.3
配当性向	%	20.2	16.0	18.1	16.6	17.1	18.8	17.8
PER（株価収益率）	倍	11.8	8.0	9.0	7.9	8.1	8.3	7.9
PBR（株価純資産倍率）	倍	0.48	0.47	0.47	0.45	0.45	0.40	0.40

以上



資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応 (アップデート)

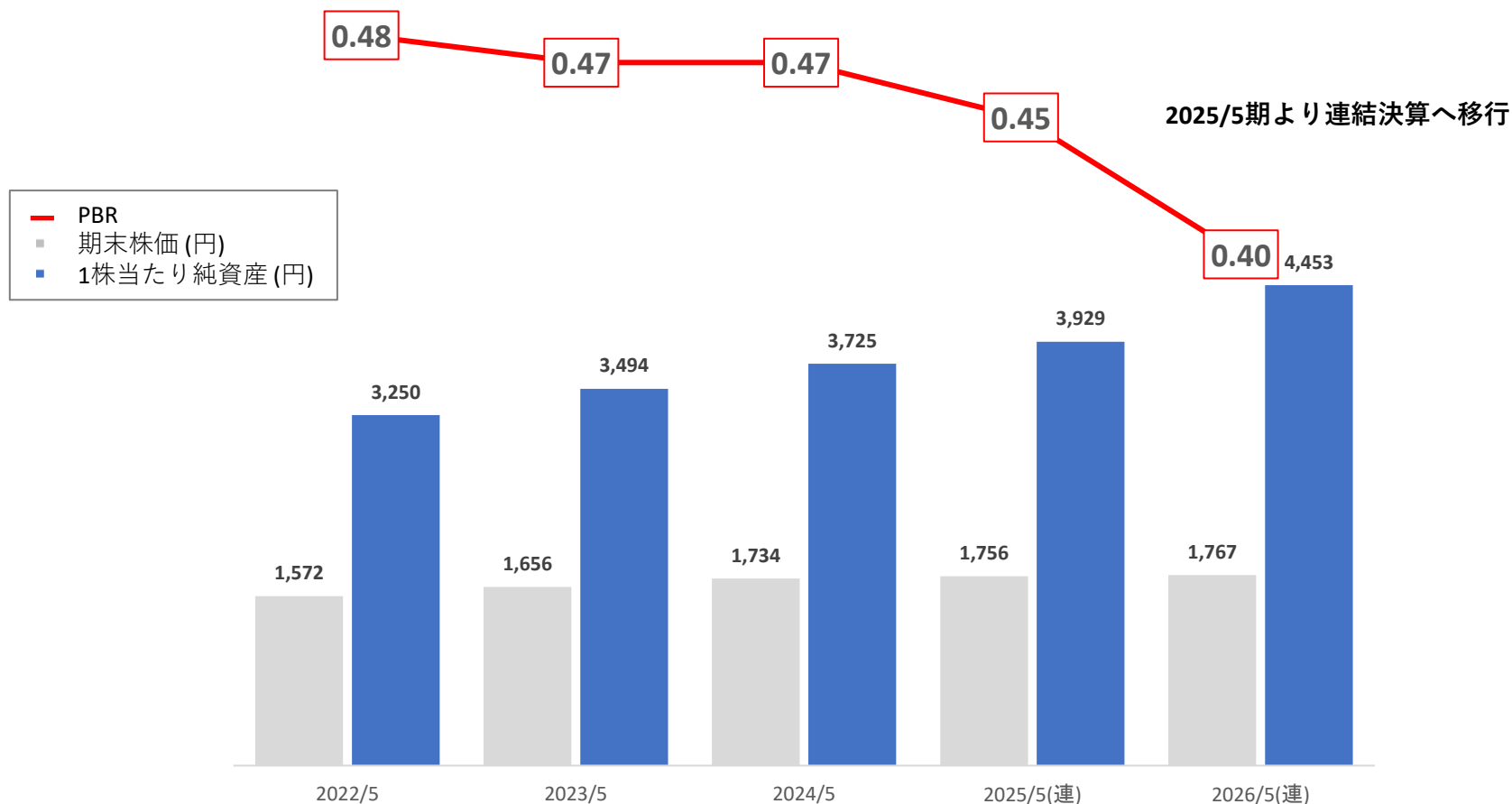
株式会社オータケ (東証スタンダード：7434)

代表取締役社長 金戸 俊哉

2026年10月27日

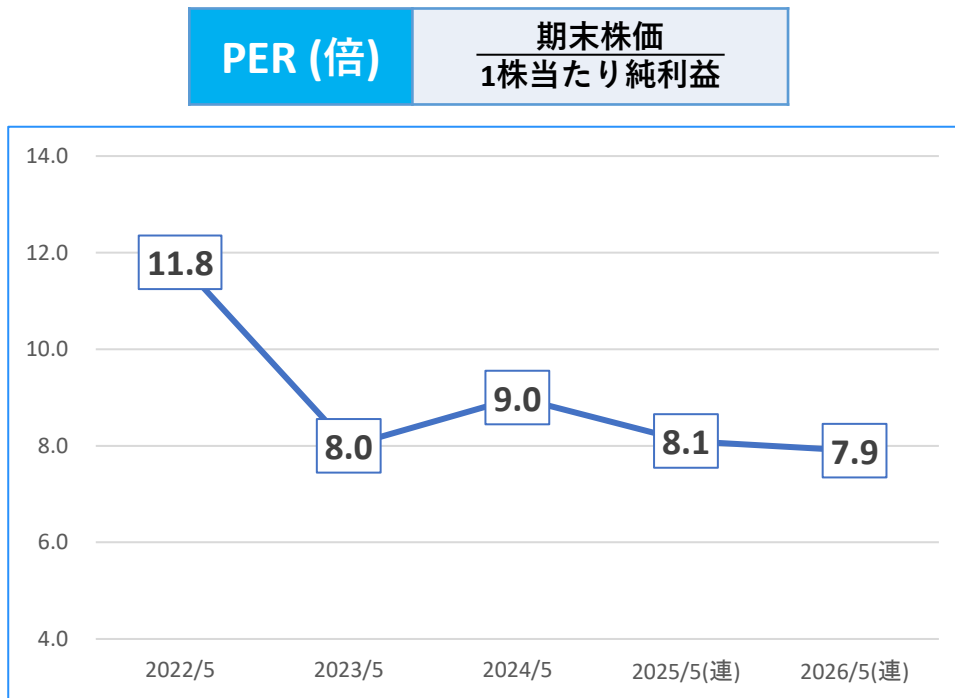
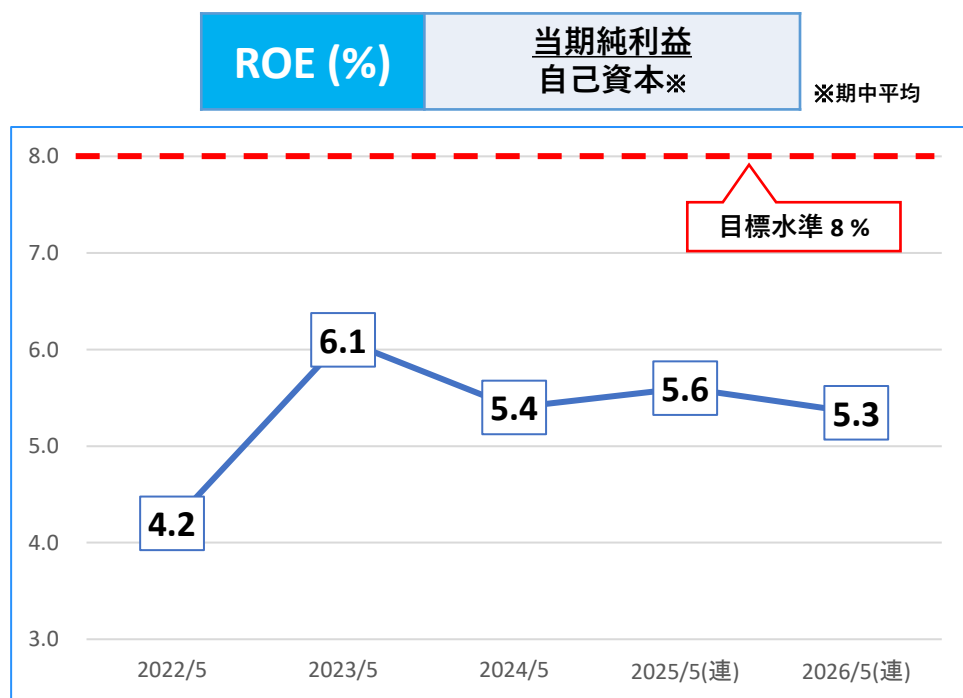
現状分析（PBR）

- 2026年5月期末のPBR（株価純資産倍率）は 前期末の0.45倍から0.40倍に低下。
- 1株当たり純資産の増加に対して、株価はわずかな上昇にとどまっており、市場の評価を獲得するには至っていない状況。



現状分析（ROE・PER）

- PBR（株価純資産倍率）をROE（自己資本利益率）とPER（株価収益率）に分解し要因分析。
- ROEは引き続き5%台で推移。株主資本コストはCAPMベースで5.1%程度と試算されるが、低いβ値に起因する影響も大きく、実際の投資家の期待収益率はこれを上回る可能性がある。
- 当社は、中長期的にROE8%の達成を目標とし、資本効率の向上に取り組んでいく。
- 1株当たり純利益は増加基調にあるものの、株価評価はわずかな改善。PERは10倍未満にとどまる。



現状分析（ROE分析）

- ROE（自己資本利益率）を売上高純利益率・総資産回転率・財務レバレッジに分解し要因分析。
- 今期の収益性（売上高純利益率）は、特別損失の影響で前期を下回る。ROEを高めるためには収益力の一段の強化が必要。
- 事業基盤の強化に向けた設備投資等により総資産が増加したため、効率性（総資産回転率）は低下。一部負債を活用した設備投資を進めたため、財務レバレッジは上昇。

ROE (%)

当期純利益
自己資本

収益性

当期純利益
売上高

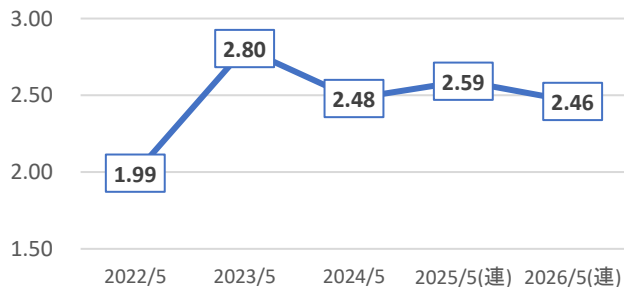
効率性

売上高
総資産

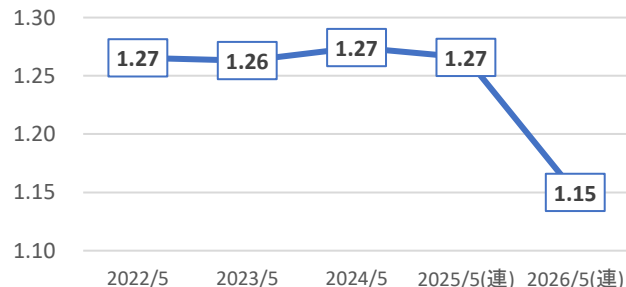
財務レバ
レッジ

総資産
自己資本

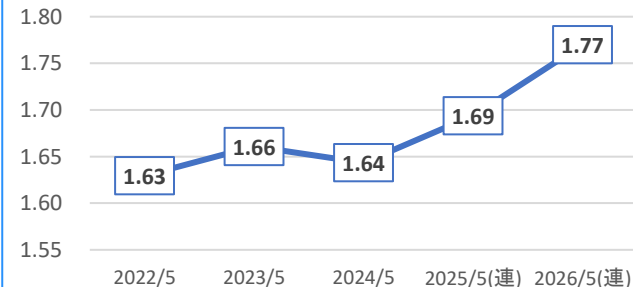
売上高純利益率(%)



総資産回転率(回)



財務レバレッジ(倍)



■ 評価・改善方針

- 当社は、2024年7月に「資本コストや株価を意識した経営の実現」を経営課題に掲げ、改善に向けた取り組みを検討・実施してきたが、市場から十分な評価を獲得するには至っていない。
- 今後も継続的に改善に向けた取り組みを推進していく。

改善方針	評価／取り組み	ねらい	
		ROE	PER
ROEの継続的向上 ーROE8%を目指してー	・ 2024年9月にグループインした(株)田中産業の業績が当期は通期にわたり連結業績へ反映。当社グループ収益の拡大に貢献。 ・ 管工機材ECサイトの全面リニューアル後、機能の拡充・改善を進め利便性向上。 ・ 収益力の向上を通じて持続的な利益成長を実現し、中長期的にはROE8%水準の達成を目指す。	●	●
株式の流動性向上	・ 株式の流動性は前期比で改善しているものの、依然として低い水準にあり、当社の企業価値が株価に反映されにくい状況が継続。 ・ 引き続き、流通株式数の増加による流動性の向上策を検討していく。		●
株主還元の充実	・ 利益成長を合わせ着実に配当を積み増す累進配当方針を公表。 ・ 2026年5月期の期末配当は、1株当たり37円（前期）から40円へ増配。		●
情報発信力の強化、 対話の充実	・ リニューアルしたホームページを活用した情報開示・情報発信の充実により、当社への理解促進と信頼向上、成長期待を醸成。		●
政策保有株式の縮減	・ 政策保有株式については、保有意義や経済合理性の検証を継続的に実施したものの、当期においては縮減に至らず。	●	